

福井県の越前打刃物をデザインしようと決心したが、職人たちとの距離を縮めることに苦慮した。

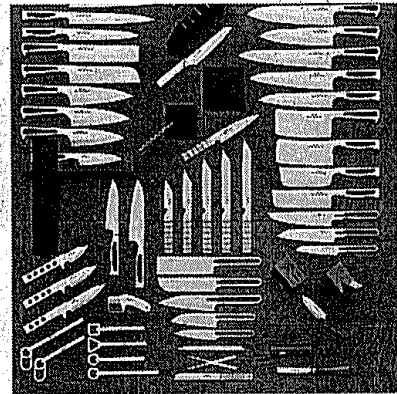
1980年代前半のころだったが、職人たちからは「デザイナー」というカタカナ職業がうさんくさく思えたのだろう。標準語を話しながら「マーケティング」や「コンセプト」など専門用語を使うことも印象を悪くした。

最初の3カ月ほどは口ずらきしてもらえなかった。私は福井弁で話すように心がけ、武生市（現越前市）にある工業試験場に通い詰めた。包丁のスケッチを何百枚も描き、作りたい形を訴え続けた。やがて職人の

未来の予感を形に ⑧

工業デザイナー

川崎 和男氏



700年の伝統がある越前打刃物を工業デザインにより刷新した

職人と「現代の機能美」追求

1人が「どれを作ればいいんだ」と応じてくれた。越前打刃物は熟した鉄を打ち延ばす鍛造品だ。南北朝時代に京都から来た刀匠が伝えたとき。職人がつくる包丁には深みと味わいがある。

刃物は道具の基本だ。人類によるものづくりは石包丁から始まった。越前打刃物の出会いは工業デザインの原点に立ち返ることに

1人が「どれを作ればいいんだ」と応じてくれた。越前打刃物は熟した鉄を打ち延ばす鍛造品だ。南北朝時代に京都から来た刀匠が伝えたとき。職人がつくる包丁には深みと味わいがある。

刃物は道具の基本だ。人類によるものづくりは石包丁から始まった。越前打刃物の出会いは工業デザインの原点に立ち返ることに

ケフナイビレッジ」で日本デザインコミッティ・デザインフォーラム銀賞を受賞。復活の足がかりとなった。

その当時、口の悪い仲間のデザイナーからは「さすが川崎、今度は刃物を握って東京に殴り込んできた」と言われた。もくろみ通り、地方から東京をあとと言わせるデザイナーを仕掛けることができた。工業試験場の職人たちが結成したタケフナイビレッジ協同組合（福井県越前市）は私が命名。彼らの活動は地方活性化のモデルケースとして評価された。

84年、キッチンナイフなどをデザインした「タケフナイビレッジ」で日本デザインコミッティ・デザインフォーラム銀賞を受賞。復活の足がかりとなった。

その当時、口の悪い仲間のデザイナーからは「さすが川崎、今度は刃物を握って東京に殴り込んできた」と言われた。もくろみ通り、地方から東京をあとと言わせるデザイナーを仕掛けることができた。工業試験場の職人たちが結成したタケフナイビレッジ協同組合（福井県越前市）は私が命名。彼らの活動は地方活性化のモデルケースとして評価された。